

道徳科

第2学年

呉市立広南中学校

指導者 T1 堀田 侑希
T2 浜満 理恵
T3 渡部 雄也

主題名

思いやりへの感謝

教材名

夜のくだもの屋

(日本文教出版)

内容項目 B-(6)『思いやり、感謝』

本単元で育成する資質・能力

思考・表現

協力・協働

感謝・貢献

- 1 対象・日時 第2学年A組 男子10名 女子7名 計17名
令和6年11月19日(火) 第5校時

2 主題設定の理由

- 本主題は、「中学校学習指導要領(平成29年告示)解説・特別の教科 道徳編」の内容項目B-(6)「思いやりの心をもって人と接するとともに、家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに応え、人間愛の精神を深めること。」を基に設定したものである。

「人間は、互いに助け合い、協力し合いながら生活している」ことを実感することが、現代では難しくなっている。多くの人々の善意や支えによって、今の自分があることを自覚することにより、おのずと感謝の気持ちがわいてくるものである。他人の善意や思いやりに満ちた言動に気付き、それがあたりまえではないということを自覚し、感謝の気持ちを伝えようとする態度を育てたいと考え、本主題を設定した。

- 本学級の生徒は、互いに助け合う雰囲気があり、協力して活動することができる。しかし、相手の立場や気持ちに対する配慮ができず自分の思いをうまく伝えられない場面もみられる。事前に行ったアンケートの結果は、次の通りである。

	質問項目	肯定的回答率
①	感謝の気持ちをもつことは大切である。	100%
②	自分には、支えてくれる人がいる。	100%
③	自分を支えてくれる人に感謝の気持ちをもっている。	100%
④	感謝の気持ちを言葉や行動で相手に伝えている。	80%
⑤	④について、それは、なぜですか。	-
	肯定的回答 ・気持ちがすっきりするから。 ・伝えないと後悔してしまうから。 ・礼儀だから。 否定的回答 ・恥ずかしいから。 ・言わなくてもいいと思うから。 ・あたりまえのことだから。	

上記のアンケート結果から、日々の生活の中で自分を支えてくれている多くの人々の善意や支えに気付いていることがわかる。

一方で、「感謝の気持ちを言葉や行動で相手に伝えている」という質問に対する肯定的回答率は

80%であった。実際の学校生活の中では、他者からの思いやりに気付くことができていなかったり、様々な人に支えられていることを自覚できていなかったりするのではないかと考えられる。

そこで、本授業をさりげない思いやりに気付くきっかけとし、思いやりと感謝の心と態度を育てていきたいと考える。

- 本教材は、合唱部の練習後、暗い夜道を一人下校する主人公の少女を心配し、少女が通り過ぎるまで店を開けているくだもの屋のあたたかな思いやりが感じられる教材である。

指導に当たっては、単に思いやりの大切さに気付かせるだけでなく、根本において自分も他者も、共にかけがえのない存在であることをしっかり自覚できるようにすることが大切である。そして、思いやりや感謝の気持ちを言葉にして素直に伝えようとするのが、今自分が相手に対して何をもって応答することができるかを考えさせ、結果として自己と他者との心の絆をより強くするのだということに気付かせたい。

導入では、事前に行ったアンケート結果を共有する。特に、「感謝の気持ちを言葉や行動で相手に伝えている。」という質問では、肯定的回答率が80%であったが、その思いは本当に相手に届いているかについてや、相手からの思いやりに気づき、感謝しているかを振り返り、本時のめあてにつなげていく。

展開前段では、暗い夜道を一人で帰る少女にとって、あかりのともったくだもの屋はどんな存在だったかを考えさせることを通して、少女がくだもの屋のあかりに毎日守られていたことをおさえる。

中心発問では、『ふたたび、声もなかった』のは、少女がどんな気持ちになっていたからだろう。」と問い、くだもの屋のあかりの本当の理由を知った少女の気持ちを考えさせる。また、集団交流する際、「くだもの屋さんにはどんな思いで、このようなことができたのだろう」と問い、くだもの屋の思いやりは何の代償も求めない深い人間愛であることに気付かせ、より深く考えさせる。

展開後段では、人の思いやりに気付くには、何が大切であるかについて考えさせたい。

振り返りでは、本時の学習や自分の生活を見つめ直し、他人の善意や思いやりに満ちた言動に気づき、それに感謝しようとする生徒の姿を期待する。

3 他の教育活動との関連

「2Aで繋ぐ思いやりと感謝」プロジェクト

子どもの姿

before

家族や地域など身近な人への感謝の気持ちを、素直に言葉で伝えたり、行動で表したりしようとする意識が高くない。

事前活動

【道徳科】教材名：「小さな工場の大きな仕事」

それぞれの職業が社会の発展に貢献していることを理解し、将来の生き方について考えを深めようとする実践意欲を養う。

内容項目：C-（13）勤労

【総合的な学習の時間】キャリア・スタート・ウィーク

働く人々の姿や意見を見聞し、実際に働くことを通じて、働くことの意義や喜び、厳しさを学び、一人一人が自分の責任を果たすことで社会が成り立っていることを実感する。

【学校行事】広南劇場

総合的な学習の時間の取組を中心に、文化的な活動の成果を発表することで、保護者・地域の人に感謝・貢献の気持ちを伝える。地域に愛される特色ある文化活動発表会を行うことで、達成感を味わうとともに広南中学校の生徒としての誇りと自信をもつことができる。

【道徳科】教材名：「夜のくだもの屋」（本時）

人間は多くの人々のさりげない善意や思いやりによって支えられ、守られていることに気づき、それに感謝しようとする態度を育てる。

内容項目：B-（6）思いやり、感謝

事後活動

【総合的な学習の時間】起業プロジェクト

「地域社会に貢献する起業」という問題解決の過程を通して、働くことの意義を理解し、地域に貢献したいという志をもつことができる。

【学校行事】広地区クリーン活動

広地区の小・中学生が、一斉に掃除を行うことにより、広地区・地域の連帯感と奉仕の精神を育てる。

【生徒会行事】一日一善運動

「困っている人を助けたり、ごみを拾ったりすること」で、互いに助け合い認め合う絆の深い学校をつくる。

子どもの姿

after

見返りを求めず、「さりげない」思いやりを持った行動をすることができる。

相手の思いやりの深さに感謝し、自分のできることで応えていこうとする気持ちをもっている。

4 本時の学習

(1) 本時のねらい

人は、多くの人々のさりげない善意や思いやりによって支えられ守られていることに気付き、それに感謝しようとする態度を育てる。

(2) 学習の流れ

	学習活動	主な発問と予想される生徒の心の動き (◎中心発問)	指導上の留意点 (・) 評価の観点 (☆)
導入 課題意識をもつ	1 アンケート結果を見て、課題意識をもつ。	○ 感謝の気持ちを言葉や行動で相手に伝えていますか。それはなぜですか。 ・ 伝えないと後悔してしまうから。 ・ 恥ずかしいから。 ・ 言わなくてもいいと思うから。	・ 感謝の気持ちは本当に相手に届いているかや、相手からの思いやりを受けとっているかを振り返る。
		人から支えられていることに気付くには、何が大切だろう。 ○ 暗い夜道を一人で歩いたことはありますか。そのとき、どんな気持ちでしたか。 ・ 不安 ・ 心細い ・ 寂しい ・ 怖い	・ 教材の少女の気持ちに近づく。
	2 教材「夜のくだもの屋」を読んで、話し合う。	○ 暗い夜道を一人で帰る少女にとって、あかりのともったくだもの屋はどんな存在だろう。 ・ 心が落ち着く。 ・ ほっとできる。 ・ 安心できる。	・ この店だけのあかりがついていること、少女は、この明かりに守られていたことをおさえる。
	個人思考 ↓ ペア ↓ 全体交流	○ お見舞いの品を買いに行ったときに、少女が思わず息をのんだのはどうしてだろう。 ・ 課題曲をなぜ知っているのだろう。 ・ 自分の歌を聴かれていると思わなかった。恥ずかしい。	・ 少女は、このくだもの屋のあかりの本当の意味はわかっていないが、「ありがとうございました。」といったことはおさえておく。

展開前段	個人思考（ノート） ↓ ペア ↓ 全体交流	◎ 「ふたたび、声もなかった」のは、少女がどんな気持ちになっていたからだろう。 ・自分の知らないところで、応援をもらっていた気がして嬉しくなった。 ・毎晩の明かりは、自分のためだったということに驚きながらも嬉しかった。 ・くだもの屋さんの優しい思いやりに感激した。 ・毎晩遅くまで自分の帰りを待っていていたと知り、迷惑をかけてしまっていたのではないかという心配。 ・会ったこともない少女（自分）のために、どうしてここまでしてくれるのだろう。 ・最近は歌声を聞いていないと心配されていたことに驚いた。	・ くだもの屋のあかりの本当の理由を知ったときの少女の気持ちを考えさせる。 ・ 嬉しさや感謝の気持ちとおばさんの思いやりの行動に気付いていなかった私の情けない気持ちに気付かせる。 ・ 「くだもの屋はどんな思いでこんなことができたのだろう。」と問い返し、くだもの屋の思いやりは何の代償も求めない深い人間愛であることに気付かせる。
展開後段 学びを深める	3 本時のまとめをする。	○ 人から支えられていることに気付くには、何が大切だろう。 ・ 周りをよく観察する。 ・ 周りの人の優しさに気付く。 ・ 自分のことばかりでなく、相手の気持ちを考える。	
終末 学習したことを振り返る	4 学習したことを振り返る。 個人思考（ノート） ↓ ペア ↓ 全体交流	○ 今日の学習やこれまでの生活を振り返って考えたこと、友達の意見を聞いて思ったことを書きましょう。 ・ 私も自分が気付いていないところで、たくさんの人に支えられていると思います。周りの人の優しさに気付くことができるように、もっと周りを見て生活していきたいと思います。 ・ 今日の授業を通して、クラスの中にもみんなのために行動してくれている人がいるなと思いました。次からは、「ありがとう」って伝えたいし、自分もみんなのために行動できるようになりたいと思いました。	・ 振り返りの視点を与えて振り返られるようにする。 ☆ これまでの生活を振り返り、他人の善意や思いやりに満ちた言動に気づき、それに感謝しようとする心をもっている。（ノート、発表） ・ 日々、お互いが協力し合い、支え合って生活していることを実感させる。
	5 日々の思いやりの行動について振り返る。	○ 2Aの思いやりを振り返ってみましょう。	

夜のくだもの屋

人から支えられていることに気付くには、何が大切だろう。

スクリーン

絵

○暗い夜道を一人で帰る少女にとって、あかりの
とったくだもの屋はどんな存在だろう。

・心が落ち着く。・ほっとできる。・安心できる。

○お見舞いの品を買いに行ったときに、少女が思わず息をのんだのは
どうしてだろう。

・課題曲をなぜ知っているのだろう。

・自分の歌を聴かれていると思わなかった。恥ずかしい。

◎「ふたたび、声もなかった。」のは、少女がどんな気持ちになって
いたからだろう。

・自分の知らないところで、応援をしてもらっていた気がして
嬉しくなった。

・毎晩のあかりは、自分のためだったということに驚きながらも
嬉しかった。

・くだもの屋さんの優しい思いやりに感激した。

・毎晩遅くまで自分の帰りを待ってくれていたと知り、迷惑を
かけてしまっていたのではないかという心配。

・会ったこともない自分のために、どうしてここまでしてくれる
のだろう。

・最近の歌声を聞いていないと心配されていたことに驚いた。

人から支えられていることに気付くには、何が大切だろう。

・周りをよく観察する。・周りの人の優しさに気付く。

・自分のことばかりでなく、相手の気持ちを考える。